



日本の大衆娯楽 競馬

発展の歴史

明治日本の欧化政策とも深く結びついてきたその歴史は忘れられ、主に軍馬育成の観点からあわせて論じられることの多かった昭和前期までの競馬史を刷新する画期的な論考。賭博に関わる様々な逸話を追体験できる書齋の競馬本。

近代日本の競馬
杉本 竜:著 創元社
四六判並製 344頁 2022年6月刊 ISBN:9784422701264 2,750円



「感情」に力点を置き、 学問を見直す動きの高まり

感情のあり方のグランドセオリーを展開し、歴史学における感情の扱い方の手法とその重要性を説く。日本でもようやく注目されてきた感情史についての、もっとも定評ある基本書であり、新しい人文学の可能性をひらく書でもある。

感情史の始まり
ヤン・プランパー:著 森田直子:監訳 みすず書房
四六判上製 608頁 2020年11月刊 ISBN:9784622089537 6,930円



いつから、なぜ、はじまった？ 身近なモノの起源がわかる

日本人はいつからおにぎりを食べていた？ ゴミを吸い込む掃除機が必要となった訳は？ 私たちの生活に身近なモノの誕生に焦点を合わせ、その変化、名前の由来、発明した人物などを通史的に解説。豊富な図版と便利な索引付きで、調べ学習にも最適。

モノのはじまりを知る事典
木村茂光、安田常雄、白川部達夫、宮瀧交二:著 吉川弘文館
四六判上製 272頁 2019年12月刊 ISBN:9784642083683 2,860円

* 価格は10%税込、2024年9月のものです。

..... 出版社クイズ

なんとこの名前の出版社かわかりますか？

- ① 1955年に定期的な出版活動を開始。来年70周年を迎える。最初の刊行は、ヒラリーと共にエヴェレスト初登頂に成功したテンジンの自叙伝『ヒマラヤの男』の翻訳書。
- ② 1963年には新書シリーズを立ち上げる。高階秀爾、木村敏等、のちに一線で活躍する作家たちが名を連ねていた。1976年、新書の刊行を休止。
- ③ 売上は数々のロングセラーにも支えられている。職場のモットーは「健康第一」。刊行点数が少なくても、一冊ずつ丁寧に作ることを心がけている。

クイズのお答え



「健康第一」をモットーに、刊行点数は少ないながらも、数々のロングセラーを生み出している。1963年には高階秀爾、木村敏等、のちに活躍する作家たちが名を連ねていた新書シリーズを立ち上げた。1976年には新書の刊行を休止した。1955年にヒラリーと共にエヴェレスト初登頂に成功したテンジンの自叙伝『ヒマラヤの男』の翻訳書を出版した。来年70周年を迎える。1927年（昭和2年）の創業以来、「文芸都市」などを刊行し、1933年には「行動」創刊のため「株式会社紀伊國屋書店出版部」を設立。2年後に同社が解散し、現在は「机」などを出版している。『ヒマラヤの男』の出版から数えていくと、このクイズの答えは、70周年。書物の持つ力を信じて、これからも読者の知的好奇心を満たす本を丁寧に作り続けていく所存です。

本屋です。出版もやっています
紀伊國屋書店

* 梓会加盟出版社を紹介してゆきます

梓会 カモノハシ 通信

Azusa-kai Library Club



書店は本の森。出版梓会は、事典から絵本までユニークな本を丁寧に作る出版社の集まりです。この葉では毎回テーマを決めて、読書の愉しみを、ひとりの時間を極上にご提供するお宝本を、こっそりお教えします

身近にある「もの」にも
「こと」にもルーツがあります。

今回のテーマは、

「知っていますか？
〇〇の始まり」

いろんな始まりにフォーカス。
意外な発見があるかも
しれません。



22号(2024年9月)
出版梓会

データダウンロードはこちら⇒





セジョン
**国王・世宗が創製したハンゲル。
 人は文字をいかに生きるのか**

文字が生まれると、何が起こるのか？ 私たちはハンゲルを見ることによって、人間の文字の原初を知り、〈話されたことば〉と〈書かれたことば〉の豊饒なる流転、そして言語のおおひなる希望を知る。アジア・太平洋賞大賞受賞の新書版を約100頁増補した決定版。

新版 ハンゲルの誕生
 野間秀樹：著 平凡社
 B6判変型並製 462頁 2021年9月刊 ISBN:9784582769227 1,760円



**粒粒辛苦の研究で解明！
 わさびが秘める歴史ミステリ**

山奥に生え、主食にもならず、栽培も難しい。そんなわさびの栽培を、どこのが何を思って始めたのだろうか？ その解明に情熱を傾ける生物学者がDNAから古典籍まで渉猟。見えてきた実像を年表とともに紹介するスリリングな科学読み物。辻静雄食文化賞受賞作。

わさびの日本史
 山根京子：著 文一総合出版
 四六判並製 272頁 2020年8月刊 ISBN:9784829972335 2,750円



**外食はいつから始まり、
 どこへ向かうのか**

江戸の昔から、日本人の胃袋と心を満たし、人と人のつながりを生み出してきた外食。高級フレンチから寿司、天ぷらからファミレス、カレー、中華、ラーメン、B級グルメにアジア飯……。食欲と人物ドラマが織りなす、おいしい歴史。

日本外食全史
 阿古真理：著 亜紀書房
 四六判並製 664頁 2021年3月刊 ISBN:9784750516837 3,080円



**宇宙の始まりから現在までの
 138億年をたった一冊に！**

宇宙はどう始まったのでしょうか？ 地球は？ 生命は？ 私たちの文明は？ 天文学や生物学から考古学・歴史学まで、ありとあらゆる学問の成果を凝縮し、ビッグバンから現代までの138億年の歴史を一望します。私たちが語りうるもっとも壮大な歴史物語。

オリジン・ストーリー ― 138億年全史
 デヴィッド・クリスチャン：著 柴田裕之：訳 筑摩書房
 四六判並製 416頁 2019年11月刊 ISBN:9784480858184 2,420円



**十二支はどうやって
 決められたの？**

元日の朝、神様にあいさつに来た順に年の神様にすると言われた動物たち。最初に到着したのは牛でしたが、背中に乗っていたねずみが先に飛び降りて一番に…。テンポのよい文体と味わいのある版画で、十二支の由来が楽しくわかる絵本です。

十二支のはじまり
 谷真介：文 赤坂三好：絵 佼成出版社
 A4判変型上製 32頁 1990年11月刊 ISBN:9784333015115 1,175円



**冷蔵庫、エアコン、コンピュータ
 システムから宇宙ロケットまで**

冷蔵庫が、文明の中心に躍り出るまでの試行錯誤、技術的なブレークスルーから、冷蔵技術の将来まで、人工的に低温を作り出すということの不自然さと、その技術の人類への恩恵を、余すところなく描いた。科学と歴史を融合した異色ノンフィクション。

冷蔵と人間の歴史 ― 古代ペルシアの地下水路から、物流革命、エアコン、人体冷凍保存まで
 トム・ジャクソン：著 片岡夏実：訳 築地書館
 四六判上製 292頁 2021年9月刊 ISBN:9784806716242 2,970円



**常識や年齢を飛び越える
 ファッション誌の「女子」を読み解く**

「女子」ブームはどのように生まれたのか。いま、女性たちは自覚的に「女子」を名乗る。ファッションや化粧という表層的な手段は「女子力」という名の、女性たちが自由に生きていくための原動力になっていることをファッション誌の分析から明らかにする。

「女子」の誕生
 米澤泉：著 勁草書房
 四六判上製 244頁 2014年7月刊 ISBN:9784326653898 2,860円



**租税の歴史を幅広い視野で
 専門領域にとらわれず読み解く**

ローマ時代の塩税、ウェストファリア条約以降の課税権の変容から、租税制度を軸にフランス革命やアメリカ独立革命を読み解く。日本と世界が直面する税の今日の問題を幅広く取り上げている。経済的苦境を背景にトランプ大統領の登場を予見した講演録なども収録。

租税史回廊
 中里実：著 税務経理協会
 A5判並製 448頁 2019年11月刊 ISBN:9784419066574 4,290円



**お金の起源から現代の中央銀行
 の役割まで…日本経済にも言及**

英国の中央銀行が自国民の経済リテラシー強化のため公式本を刊行。景気変動や金利政策など経済の基本だけでなく、通貨危機や気候変動といった世界規模の難問まで学べます。日銀の金融政策についても解説。英ガーディアンなど各紙絶賛。世界10か国以上で翻訳。

イングランド銀行公式 経済がよくわかる10章
 イングランド銀行：著 村井章子：訳 すばる舎
 四六判並製 460頁 2023年8月刊 ISBN:9784799111529 1,980円



阿寒湖に行ったら緑色のマリモソフトがあったよ。マリモが丸いのは湖の透明度と風の賜物。浅い湖底を風まかせにコロコロ回転してまん丸に！ 動いてないと崩れちゃうんだって。